

鎌ケ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題（目的に対する現状など）	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
1	一般	4	2	1	212循環型社会の構築	清掃事務に要する経費	クリーン推進課			①廃棄物の出し方、分別などについて、電話や窓口における相談やその他廃棄物処理に関する事務、苦情処理等を行うもの。 ②窓口や電話による苦情、相談の件数が多く、内容も非常に多岐に渡るため、正職員だけでは対応が困難である。	2,785	2,949	6精査・検証	①電話や窓口対応が日常的に多いため、業務に精通した非常勤職員による対応を継続する必要がある。 ②市民への指導内容等について統一を図るため、職員間で常に情報共有を図る。	3,074
2	一般	4	2	1	212循環型社会の構築	柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合に要する経費（周辺整備等）	クリーン推進課	○		①廃棄物処理施設周辺の住民に対する環境整備を目的として、還元施設の維持管理や周辺環境の改善等に必要経費の負担を行う。 ②周辺整備計画については、地域住民及び構成市との調整を図りながら見直しを行う必要がある。	141,608	161,645	6精査・検証	①運営の効率化について、たえず検証していくため。 ②環境衛生組合による周辺整備基本計画等策定事業において構成市として地域住民との合意に基づいた計画を策定する。	134,103
3	一般	4	2	2	212循環型社会の構築	ごみ減量業務に要する経費	クリーン推進課	○		①有価物回収運動奨励金や買い物袋の持参推進運動協議会の負担金、生ごみ処理容器等購入費補助金の支払いを行う。 ②有価物の回収量、買い物袋の交換件数及び生ごみ処理容器等の補助件数について、全体的に減少傾向にある。	14,860	14,138	6精査・検証	①市民に直接働きかけることでごみの減量化につながる施策であるため、今後もPR活動等を継続する必要がある。 ②生ごみ処理容器等購入補助事業の普及促進を図るためチラシを作成し自治会を通じて全戸配布を行う。	15,436
4	一般	4	2	2	212循環型社会の構築	柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合に要する経費（ごみ処理等）	クリーン推進課	○		①構成団体の地区内（柏市沼南地区・鎌ケ谷市全域）で排出されたごみを適正処理するために建設された施設の建設償還金及び施設運転管理等の経費を負担する。 ②今後、ごみ焼却施設の老朽化による延命化対策が必要となる。	1,246,562	1,178,504	6精査・検証	①不燃ごみ処理方法及び資源化処理方法についての検討が必要となる。 ②しらかぎの建設にあたり、旧沼南町と締結した協定書に基づき、鎌ケ谷市域の用地を取得するための準備を進める。	1,108,452
5	一般	4	2	2	212循環型社会の構築	旧クリーンセンター管理に要する経費	クリーン推進課			①休止中である鎌ケ谷市クリーンセンターの維持管理を適正に行い、周辺環境や安全を確保する。 ②景観の保全と安全の確保をおこなうことが必要である。	890	858	6精査・検証	①景観の保全と安全の確保が行われた。 ②現状のとおり維持管理を継続する。	704
6	一般	4	2	2	212循環型社会の構築	最終処分場に要する経費	クリーン推進課			①埋め立てが終了した鎌ケ谷市一般廃棄物最終処分場を適正に維持管理し、周辺環境及び地下水等の水質を保全する。 ②埋立終了から10年以上経過していることから、廃止に向けて手続きを進めることが必要となる。	4,328	4,818	6精査・検証	①当面、管理が必要となるが、埋立終了から10年以上経過しており、廃止に向けて各種データを収集していく。 ②廃止に向けて各種データの収集を継続し、廃棄物処理法及び都市計画法上で必要となる手続きについて準備を進める。	5,385